



會津八一書画「十二曲屏風」左隻(新潟市會津八一記念館 寄託)

新たなお宝コレクション、一堂に公開!!

新収蔵品展

平成21年12月18日[金]～平成22年3月28日[日] 午前9時～午後5時

[休館日] 月曜日(祝日の場合はその翌日)・祝日の翌日・年末年始(12月28日～1月4日)

[観覧料] 一般500円・大学生300円・高校生200円・小中生100円

※団体20名以上2割引、土日祝日は小中学生無料

[主催] 新潟市會津八一記念館

[協力企業] 新潟日报社、BSN新潟放送、浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

[展示解説会] 毎月第2、第4日曜日・午前11時から 新潟市會津八一記念館にて

同時開催

第三回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」
写真コンテスト
入賞入選作品展

第三回秋艸道人賞 受賞作品 赤塚 一(新潟県燕市)
「ひとみ来て 誰が打つ鐘ぞ さ夜ふけて ほとけも夢に 入り給うころ」



平成21年度 冬季企画展

新収蔵品展

新潟市 會津八一記念館



會津八一書「和致芳」(当記念館 所蔵)



會津八一書「陶然」(当記念館 寄託)

新たなお宝コレクション、一堂に公開!!

會津八一記念館では、2007(平成19)年から2009(平成21)年11月までに、新たに収蔵された作品資料を一堂にご紹介いたします。

本展覧会の主な展示として新潟日报社元社長、西村二郎氏旧蔵の會津八一作品をまとめて紹介いたします。このコレクションは、八一との親しい交流の中で贈られたもので、書に邁進した八一の晩年の新潟生活を偲ぶ秀作です。

また、新たに寄託された書画張り交ぜ十二曲屏風は、右隻と左隻で対照的な季節の書画が配置され、八一らしい趣向が凝らされた屏風です。この屏風を観た八一の友人、中田瑞穂は、「会心の作」と絶賛しています。

さらに、八一自身がペンでなぞって描いた手形、歌集『寒燈集』の口絵となった喜多武四郎画「會津八一肖像」、養女紀伊子が八一の代筆をした「吉池進宛書簡」などの珍しい作品資料も展示いたします。

2010(平成22)年4月で35周年を迎える會津八一記念館の新たな収蔵作品を是非ご覧ください。

同時開催で、第3回を迎えた秋艸道人賞写真コンテストの入賞入選作品も展示いたします。

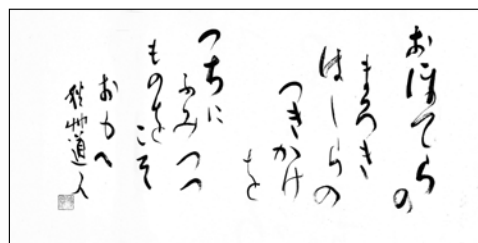
同時開催

第三回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」

写真コンテスト入賞入選作品展



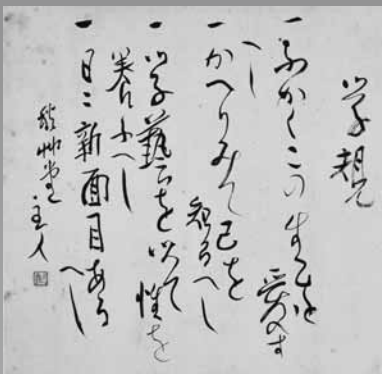
新潟市長賞
「おほてらの」栗原 昭作(新潟市江南区)



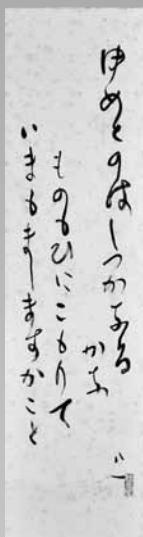
會津八一書「おほてらの」(当記念館 寄託)



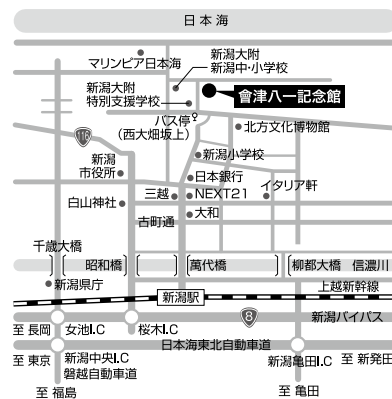
喜多武四郎画「會津八一肖像」
(当記念館 寄託)



會津八一書「学規」
(当記念館 所蔵)



會津八一書「ゆめどのは」
(当記念館 所蔵)



新潟市 會津八一記念館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932

TEL 025-222-7612 URL <http://aizuyaichi.or.jp>